



## 1/8 銅板で手作り 感謝の折り鶴



医療従事者への感謝と新型コロナウイルス収束の願いを込め、新居浜商業高校の生徒が銅板で折り鶴を手作りし、県立新居浜病院に寄贈しました。

約1カ月かけ、生徒が一羽一羽思いを込めて作成。生徒会長の田中太耀さんと1年谷口裕基さんが同病院の北條禎久院長に手渡し、「何か力になれないかと思い作成した。皆さんに私たちの思いが届いたらいいなと思う」とエールを送りました。北條院長は「これからを担う人たちからの応援は心強い。来院する多くの人にも折り鶴を見てほしい」と笑顔で答えました。

## 1/21 少年拳士2人 気迫の勝利



昨年12月に開催された「第8回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会」で上位入賞を果たした少年拳士2人が市役所を訪れ、喜びと今後の抱負を語りました。

小学4年生男子軽量部門に出場した横井鉄生君（高津小、正道会館KCIEL）は、終始安定した試合運びで優勝。小学6年生男子軽量部門では、山口虎志君（中萩小、同）が準決勝で敗れたものの、得意技が光る戦いで3位に輝きました。

横井君は「自分に自信が持てた。次の全国大会でも優勝したい」と笑顔。山口君は「もっと練習して来年は優勝する」と雪辱を誓いました。

## 1/25 着付けの匠 マイスターに認定



着付け職種では全国で3人目となる全国技能士会連合会（全技連）の「全技連マイスター」に、美容室「HAIR \* NAIL ギャルソン」の久保陽子さんが認定されました。

同マイスターは、優れた技能を持ち、人材育成や技術伝承に熱心な技能士を認定するものです。

母の影響で幼い頃から着物が身近にあったという久保さん。美容師として働く傍ら、1級着付け技能士として、後進の指導や海外への着物文化発信に尽力してきました。長年の功績が評価され、久保さんは「皆さんのおかげ。これからも努力していきたい」と喜びました。

## 1/26 コートで躍動！全国で上位入賞



市内を拠点に活動するジュニアバドミントンチーム「中萩JBC」所属の小学生3人が、「日本小学生バドミントンフェスティバルINくまがや」（1/6～8、埼玉県）で優秀な成績を収め、市長に喜びを報告しました。

男子シングル4年生以下の部で優勝した篠原康輔君（四国中央・川之江小）は「優勝できてうれしい。次の大会でも勝ち進みます」と力強く宣言。女子ダブルス6年生以下の部で3位入賞した曾我部柚羽さん（泉川小）、篠原多輝さん（川之江小）ペアは「決勝に行けず悔しかった。この経験を生かしたい」と声をそろえました。

